

株式会社 北九州輸入促進センター

株式会社 北九州輸入促進センター

I 法人の概要（令和6年4月1日現在）

1 所在地

北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号

2 設立年月日

平成5年4月26日

3 代表者

代表取締役社長 中野 正信（令和6年6月19日就任）

4 資本金

6,600,000千円

5 北九州市の出資金

1,877,700千円（出資の割合 28.5%）

6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	8人	0人	2人	6人
常 勤	2人	0人	2人	0人
非常勤	6人	0人	0人	6人
職 員	11人	0人	2人	9人

7 市からのミッション

小倉駅新幹線口エリアにおけるまちづくりの中核施設として、新たな「ビジネス」「交流」「人材」「モノ」を創出・育成する「はぐくみの拠点AIM」という、市が定めたビルコンセプトに基づいたテナント誘致を行い、健全な経営のもと、AIMビルの管理・運営を行う。

II 令和5年度事業実績

当社は、アジア太平洋インポートマート流通センター棟（AIMビル）の管理・運営実施主体として、国際ビジネスサポート等を目的に、地域の経済活性化や国際化に寄与する以下の事業を行っている。

- ・国際ビジネスのサポートサービス事業
- ・不動産賃貸事業
- ・小倉駅新幹線口地区のにぎわいづくり支援

事業状況については、新規テナントの入居や館内企業の移転増床などで黒字を達成した。

当期の売上高は1,349,017千円、営業利益143,677千円、経常利益139,043千円、当期純利益は、93,830千円となり、13期連続の黒字を達成し、安定した経営を継続できた。

Ⅲ 令和5年度決算

1 貸借対照表(総括表)

令和6年3月31日現在(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	572,814,480	流動負債	453,951,908
現金及び預金	539,702,194	短期借入金	121,728,000
未収金	26,067,236	未払金	174,402,645
その他	7,045,050	前受金	75,910,784
		賞与引当金	1,298,263
		未払法人税等	39,385,100
		リース債務	22,661,235
		未払消費税等	4,729,000
		仮受金	12,622,491
		その他	1,214,390
固定資産	6,695,837,349	固定負債	504,510,057
(有形固定資産)	(6,685,301,103)	長期借入金	50,886,000
建物	6,669,462,976	退職給付引当金	3,673,344
構築物	1,192,034	預り敷金	404,372,227
車両運搬具	1	リース債務	45,578,486
工具器具備品	8,314,292		
リース資産	6,331,800		
(無形固定資産)	(1,207,200)	負債合計	958,461,965
電話加入権	1,019,200	純資産の部	
ソフトウェア	188,000	株主資本	6,310,189,864
(投資その他の資産)	(9,329,046)	資本金	6,600,000,000
繰延税金資産	7,588,210	利益剰余金	▲289,810,136
長期前払費用	1,731,836	その他利益剰余金	▲289,810,136
その他	9,000	繰越利益剰余金	▲289,810,136
		純資産合計	6,310,189,864
資産合計	7,268,651,829	負債及び純資産合計	7,268,651,829

2 損益計算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,349,017,281
売 上 原 価		1,081,816,490
売 上 総 利 益		267,200,791
販売費及び一般管理費		123,523,206
営 業 利 益		143,677,585
営 業 外 収 益		
雑 収 入	2,264,365	2,264,365
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	6,451,093	
雑 損 失	447,626	6,898,719
経 常 利 益		139,043,231
特 別 損 失		
固定資産除却損	2	2
税 引 前 当 期 損 益		139,043,229
法 人 税 等	45,399,328	
法 人 税 等 調 整 額	▲186,678	45,212,650
当 期 利 益		93,830,579

IV 令和6年度事業計画

(1) 収益の確保

令和5年度は、新規入居、館内増床のテナント企業があり、貸し床面積が増えたことから賃料収入を伸ばすことができた。

しかしながら、故障や陳腐化による設備機器類の交換や老朽化による建物防水工事、階段の非常灯改修工事などを実施したことから修繕費が膨らみ、営業利益、経常利益、最終利益ともに前年を下回った。

令和6年度は、年度末に賃貸借契約が成立したテナント企業の入居があるものの、コロナ禍に入居したワクチン関連、給付金関連のテナント企業が業務終了に伴う退去の影響もあり、若干の減収に転じる見込である。

一方、経費面では人件費、原材料価格の高騰を起因とする各種委託費用や修繕費、保守メンテナンス費用が増額する見込みである。

このため令和6年度においては、貸室の高稼働と経費の削減、業務の効率化などを実施し、利益の確保に努める。

(2) ビルの適切な維持管理

令和5年度は、維持保全のための屋上防水工事、老朽化に伴う配管の交換工事を実施したほか、館内トイレのリニューアル工事やエレベーターの交換工事などを実施した。

令和6年度は、空調、電気、給排水等の制御をしているリモート盤の交換工事、前期に引き続き屋上防水工事などを予定している。

今後についても、建物の維持保全に努め、建物の価値を高めていく。

V 令和6年度予算
 予定損益計算書

自 令和6年4月1日
 至 令和7年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		1,277,938
売 上 原 価 販売費及び一般管理費		1,218,022
営 業 利 益		59,916
営 業 外 収 益		
雑 収 入	500	500
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	3,348	3,348
経 常 利 益		57,067
特 別 利 益	0	0
特 別 損 失	0	0
税 引 前 当 期 損 益		57,067
法 人 税 等	18,832	18,832
法 人 税 等 調 整 額		▲20
当 期 利 益		38,255

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示

VI 役員名簿

令和6年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	中野正信	(株)北九州輸入促進センター
取締役	有松光浩	(株)西日本シティ銀行 北九州総本部 副本部長
〃	清水昇	山九(株)九州エリア開発営業部 部長
〃	田中康裕	(株)上組 門司支店長
〃	宮崎慎一郎	(株)福岡銀行 北九州本部 副本部長
〃	見雪和之	福岡県 商工部 部長
〃	山口博由	北九州市 産業経済局 企業立地・農林水産担当理事
監査役	中野好生	(株)北九州輸入促進センター
〃	内田晃久	(株)北九州銀行 取締役監査等委員
〃	高木敬介	西部瓦斯(株) 北九州総務部長
〃	濱谷健一	(株)みずほ銀行 北九州支店・八幡支店 支店長